

ちなみに、

勘里絵利奈です。もう一人の協力隊、「きみちゃん」の赤ちゃんが産まれました!!
名前は次号できみちゃんが教えてくれるかな? 楽しみにお待ちしております。
今回は、お隣・和泊町で開催したイベントの報告です。



一月三日、和泊町の谷山字にある「あしきぶ公園」で「第四回 あしきぶふえすた」が開催されました。このイベントは、三年前に、和泊町内で一・二を争う少数人口の「谷山字」と和泊町の「まちづくり協力隊」とが協力し、イベントを通じてあしきぶ公園を知ってもらうことで、普段の日にも字に足を運んでもらい集落内に活気をつけようとスタートしたものです。その後は「おきのえらぶ的LOHASなお祭り」のコンセプトに共感した有志が集まり、現在では任意団体「あしきぶふえすた友の会」として字の支援を受けながら継続運営しています。イベントには、毎回五百人前後のお客さんが人口百人に満たない谷山字に集まります。谷山字の島田区長は、開催以降、普段の日でも公園で遊ぶ子どもたちを見かけるようになったと仰っていました。

実は私も「友の会」メンバーの一人として前回から関わっています。今回は「体験コーナー」の一つとして、久志検の大山澄夫さんに先生をお願いし、「サネンの茎で編む草履づくり」をサポートしました。茎をたたいて割り、乾かしたものをこよつてひも状にして草履の形に編んでいくのですが、これがまた、慣れるまではとても難しい…。それでも、不格好ながら形になるようにはなりました! (上の写真で、左に写る私が持っているのが完成品です※これは大山さん作) 大山さんいわく、子どもの頃は自分でサネンを取ってきて草履をつくり、それを履いて小学校に通っていた、と。さつと、未だにつくれるおじいちゃん・おばあちゃんがまだまだいらっしやるんですね。身近な自然を活用する、あたたかな知恵と技術。ぜひ、近所の子供たちに伝えてあげて下さい! 他にも、フリマや手作り蚤の市、音楽コーナーなど、皆さん思い思いにピクニックを楽しみました。

ちなみに公園つながりで…。昨年十月号の広報ちなで紹介した「稲水公園花いっぱい計画」を環境省が主催する「みどり香るまちづくり企画コンテスト」に応募したところ、環境大臣賞を頂けることになりました。三月に東京で表彰式がありますので、えらぶをいっぱいアピールしていきます!



1_歌うカナメヒデトさん。2_前々日まで雨で不安でしたが、当日は快晴! 3_ゴミ0を目指す「あしきぶふえすた」で出たゴミはこれだけ! 4_草履はこんな感じで編んでいきます。5_コンテストに応募したのは、稲水公園のこの企画です。